

令和元年度事業報告書

公益財団法人ふるさといわて定住財団

令和元年度は、年末にかけて国内、県内とも景気は緩やかな回復基調が続いていましたが、新型コロナウイルスの国内感染の拡大に伴い、年度末にかけて急激に悪化しました。内閣府の月例経済報告(3月26日発表)では、国内の「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。」とし、「先行きについては、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。」としています。これに伴い、一時、資産が株式市場から債券市場へと流れたものの、年度末にかけては、より安全な現金に向かう事態となり、年度末の債券価格は大幅な下落となりました。

県内の雇用情勢は、復興需要が減少してきたことに加え、新型コロナウイルス感染症による景気悪化の影響により、有効求人倍率は1.20倍(令和2年3月末現在:前年同月比△0.24)に低下しました。

令和2年3月卒業予定者の就職内定率は、大学が前年度比1.4ポイント増の97.8%、専修学校は前年度比0.7ポイント増の96.7%となっており、岩手労働局では、平成21年度の調査開始後過去最高としています。高校は前年度比0.2ポイント減ですが、99.7%と高水準にあります。

次に、県内就職希望者数の割合をみると、大学が約4割、専修学校が約5割、高校が約7割と前年並みとなっています。

令和2年3月県内卒業予定者の内定状況(令和2年3月末現在:同年4月28日岩手労働局公表)

種別	県内外	就職希望者数	内定者数	内定率	前年比
大学	全体	1,872人	1,831人	97.8%	+1.4
	うち県内	785人(41.9%)	768人	97.8%	+2.1
専修学校	全体	1,496人	1,447人	96.7%	+0.7
	うち県内	786人(52.5%)	753人	95.8%	+0.4
高校	全体	2,898人	2,889人	99.7%	△0.2
	うち県内	1,987人(68.8%)	1,978人	99.5%	△0.4

1 就職イベントの開催

(1) いわて就職マッチングフェア(県内)

県内企業の人材不足が深刻化していることから、若年者等の県内就業の更なる促進を図るため、いわて就職マッチングフェアを5回計画していましたが、3月20日に開催を予定していたいわて就職マッチングフェアⅡについては、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、中止としたことにより、4回の開催となりました。

開催に当たっては、魅力のあるイベントとなるよう、従来の企業プレゼンテーションに加え、新たに、「企業の採用力強化のためのセミナー」や「良い印象のスーツの着こなし術」(岩手労働局「若年者を中心とした求職開拓事業」)を併催しました。また、11月に開催したマッチングフェアⅣにおいては、公益財団法人岩手県国際交流協会などが主催する「グローバルキャリアフェア in 岩手」と併催したほか、2月には県内9つの業界等の内容や魅力を伝える業界研究セミナーを行うなど全てのフェアで工夫を凝らしました。

さらに、就活早期化に対応するため開催時期を前倒ししたほか、例年、就活が本格化する2月と3月に連続してフェアを企画しましたが、多くの参加者を見込んだ3月のフェアの中止により、参加者は前年度と比べ大きく減少しました。

回	いわて就職 マッチング フェア	開催月日 (曜日)	参加企業 /参加者	併催事業等
1	フェアⅡ	令和元年5月18日(土)	153社/ 185人	○企業プレゼンテーション ○採用力強化セミナー
2	フェアⅢ	令和元年9月7日(土)	132社/ 95人	○企業プレゼンテーション ○採用力強化セミナー ○良い印象のスーツ着こなし術
3	フェアⅣ	令和元年11月30日(土)	101社/ 155人	○グローバルキャリアフェア in 岩手 ○良い印象のスーツ着こなし術
4	フェアⅠ	令和2年2月15日(土)	153社/ 227人	○業界研究セミナー
5	フェアⅡ	令和2年3月20日 (金・祝)	中止	—

※開催場所はいずれも岩手産業文化センター・アピオ

【前年度比較】

年度\項目	開催回数	参加企業数(1回あたり平均)	参加者数(1回あたり平均)
令和元年度	4	539社(135社)	662人(166人)
平成30年度	6	918社(153社)	1,264人(211人)
差	△2	△379社(△18社)	△602人(△45人)

※平成30年度は、学生等の就活早期化に対応して、例年4月に行っているイベントの前倒しにより(3月←4月)、例年より1回多い開催となったもの

(2) 岩手県U・Iターンフェア(県外)

首都圏からのU・Iターンを促進するため、岩手県U・Iターンフェアを東京都内で2回開催しました。

7月20日に開催した岩手県U・IターンフェアⅠは、求職者側の参加者が33名にとど

まったことから、岩手県U・IターンフェアⅡにおいては、様々な改善を行った結果、参加者は大きく増加しました。

【主な改善事項】

- ア 地元紙へのイベント広告「首都圏に住むご家族やお知り合いに是非お声がけください」の実施
- イ 岩手県東京事務所の協力により、岩手U・Iターンクラブ加盟大学や在京県人会への周知活動の強化
- ウ U・Iターンに関するトークセッションや特典付きのスタンプラリーなど魅力ある企画の実施

回	岩手県U・Iターンフェア	開催月日・場所	参加企業/参加者
1	フェアⅠ	令和元年7月20日(土) 赤坂インターシティAIR	63社/33人
2	フェアⅡ	令和2年2月8日(土) 御茶ノ水ソラシティ	63社/73人

【前年度比較】

年度\項目	開催回数	参加企業数(1回あたり平均)	参加者数(1回あたり平均)
令和元年度	2	126社(63社)	106人(53人)
平成30年度	2	110社(55社)	114人(57人)
差	0	16社(8社)	△8人(△4人)

2 就職支援情報の収集及び提供

(1) 財団ホームページへの誘引の強化

財団ホームページは、県内企業の魅力発信上有効であるとともに、当財団のイベントや県内の各団体が行う就職支援イベントの周知の場としても重要な役割を占めていることから、内容を充実させるとともに、次の方法で誘引を強化しました。

この結果、月平均のサイト訪問件数は前年度を大きく上回る14,241件となりました。

ア 財団紹介カードの作成・配布

昨年度に引き続き、財団ホームページのQRコードを印刷した名刺サイズの財団紹介カードを3万枚作成し、県内の大学・専門学校、岩手U・Iターンクラブ加盟大学、県内ハローワーク、岩手県東京事務所等に配布

イ 財団周知ポスター電車広告

昨年度実施したJR東北本線(40車両)、IGRいわて銀河鉄道(20車両)のドア横への財団周知ポスターの掲出を継続するとともに、新たに三陸鉄道(8車両)へも掲出

【当財団ホームページの活用状況】	() 内は前年度実績
◇ 登録企業数 (3月末現在)	937 社 (922 社)
◇ 4～3月訪問件数 (月平均)	14,241 件 (11,685 件)
◇ 4～3月アクセス件数 (月平均)	655,682 件 (525,240 件)
(注) 訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数 (人、回)	
アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数 (人、回、ページ)	

(2) 求職者の親世代等の目線にも訴える情報の発信

県内就職を促進するためには親や親戚からの後押しも有効であることから、財団主催イベントについては、地元紙への広告や生活情報系のテレビ・ラジオからの情報発信を強化するとともに、ポスターについては、県内主要駅に加え、スーパー等の商業施設など多くの人が集まる施設へ掲出しました。

なお、地元紙への広告掲載については、アンケート結果でも有効性が確認されたところです。

3 関係機関との連携

(1) 岩手県内企業紹介キャラバン

いわてで働こう推進協議会では、学生及び教職員の県内企業への理解を深めることを目的に、県内企業が大学等を訪問し、学生との交流を図る「岩手県内企業紹介キャラバン」を実施しています。協議会の構成員である財団では、財団登録企業に対して同キャラバンへの参加を呼びかけるなど積極的に協力しました。

(2) ふるさと発見！大交流会 in Iwate

学生の地元定着を図ることなどを目的に、岩手大学COC推進室等が主体となって実施した「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」に対して、運営方法への助言や経費負担など積極的に協力しました。

(3) グローバルキャリアフェア

外国人材確保の機会ともなるよう、県内大学の留学生等を対象としたグローバルキャリアフェア in 岩手 (公益財団法人岩手県国際交流協会等主催) を、いわて就職マッチングフェアIVと併催して実施しました。

4 出稼ぎ就労者の援護

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付しており、今年度は5件で356,000円を給付しました。

▽傷病等事故見舞金の給付状況 (平成31年4月から令和2年3月まで)

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	5	350,000円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(3)	6,000円
遺族旅費	—	
計	5	356,000円

※ () 内は事故件数の計に含めない。

(2) 「出稼ぎの葉」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」を発行し、9月に市町村を通じ互助会員に配布しました。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集し、9月に市町村等に配付しました。

5 法人の運営

(1) 適切な資産運用

異次元の金融緩和が続くなか、令和元年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど安全かつ有利な運用を行いました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による急速な景気悪化の影響により年度末の債券評価額は帳簿価額を下回っています。

資産の運用状況は別紙(P9)のとおり。

(2) 計画的、効率的な事業の運営

財団イベントのあり方について、7月から8月にかけて大学等への訪問調査や秋田県ふるさと定住機構への訪問調査を行い、その結果を基に、11月開催の理事会で、来年度の就職イベントの開催時期や会場等について意見交換を行いました。

また、今年度は財団の運営状況等について監査等があり、その結果は以下のとおりです。

ア 岩手県監査委員による財政的援助団体に係る監査（地方自治法第 199 条第 7 項に基づく監査）

実施日：本監査 令和元年 12 月 13 日（予備監査 9 月 3 日）

結果：指摘事項なし

イ 岩手県総務部による公益法人立入検査（公益法人認定法第 27 条第 1 項に基づく立入検査）

実施日：令和元年 11 月 6 日

結果：指摘事項なし

ウ 有限責任監査法人トーマツによる外部経営調査（県出資等法人指導監督要綱第 9 条に基づく調査）

実施日：令和元年 11 月 19 日

結果：イベント中心の業務の見直しや成果指標の設定などについて指摘（第 2 回定時理事会で報告）

（3）理事会運営

【第 1 回定時理事会】

日時：令和元年 5 月 23 日 13 時 30 分から

場所：エスポワールいわて

主な議題：平成 30 年度事業報告及び決算の承認、定時評議員会の招集決定、平成 31 年度県出資等法人の運営評価の報告

【臨時理事会】

日時：令和元年 11 月 8 日 13 時 30 分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：令和元年度上半期職務等執行状況の報告、来年度の就職イベント等についての意見交換

【第 2 回定時理事会】

日時：令和 2 年 3 月 17 日 13 時 30 分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：定款変更及び評議員会への提案、令和 2 年度事業計画及び収支予算の承認、令和元年度職務等執行状況の報告

（4）評議員会運営

【定時評議員会】

日時：令和元年 6 月 7 日 13 時 30 分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成 30 年度事業報告・決算の承認、理事・評議員の選任、平成 31 年度事業計画・予算の報告

【臨時評議員会】

定款変更について、第2回定時理事会（令和2年3月17日開催）の決議に基づき決議の省略（書面決議）による臨時評議員会を開催。

議題：公益財団法人ふるさといわて定住財団定款の一部（第21条、第23条及び第26条）の変更

発議月日：令和2年3月23日

（決議月日：令和2年4月2日）

（5）職員の雇用契約の見直し

就職支援コーディネーター1名を平成31年4月1日付で有期労働契約職員から無期労働契約職員に転換しました。

（6）職員表彰の実施

事務局次長が、全国公益法人協会が実施した第2回公益法人会計検定試験2級に合格（全国の受検者76名中合格者12名）したことから、当財団就業規則第47条に基づき職員表彰を行いました。